

# 遊牧民とウラン開発

## いまモンゴルで起きていること

### わたしたちにできること

モンゴル核問題研究会 公開勉強会

日 2014年7月6日 日曜日

時 午後3時半から午後6時半

会場 サクラファミリア

大阪大司教区カトリックセンター

大阪市北区豊崎3-12-8

(地下鉄中津から徒歩2分、阪急梅田から4分)



主催 モンゴル核問題研究会・モンゴル研究会

2013年10月、日本企業は仏アレヴァ社と組み、モンゴルでの本格的ウラン採掘に着手しました。その調印式の約1ヶ月前に逮捕されたモンゴル人環境保護活動家は長期刑判決を受け、2014年、ウラン鉱山近くでは家畜の異常出産が続いています。

「核燃料サイクル」構想は、モンゴルに核のフロントエンドとバックエンド双方の役割を担わせようとしています。福井地裁が示した通り、「豊かな国土とそこに国民が根を下ろして生活していることが国富であり、これを取り戻すことができなくなることが国富の喪失」です。草原の環境を護り続けてきた遊牧システムの根底からの破壊は、「生物の多様性に関する条約(CBD)」への重大な違反行為です。

モンゴルこそ原発輸出の要であり、福島、もんじゅ、六ヶ所村の問題はすべてモンゴルと直に繋がっています。モンゴルの現状を知り、いま何ができるのかを、一緒に考えましょう。



参加費：資料代実費

#### 報告予定者

今岡 良子 大阪大学准教授

芝山 豊 清泉女学院大学教授

町田 幸彦 東洋英和女学院大学教授

参加ご希望の方は下記アドレスにお申し込みをお願いします。

モンゴル核問題研究会 [mongolnuke@yahoo.co.jp](mailto:mongolnuke@yahoo.co.jp)